

２０２３年１１月１３日

国土交通省

物流・自動車局長　鶴田　浩久様

ユニバーサルデザインタクシー車いす乗車拒否改善のお願い

特定非営利活動法人DPI日本会議 議長　平野みどり

障害者・高齢者等の移動の円滑化にご尽力いただきありがとうございます。

DPI日本会議では、２０２３年１０月２０日（金）に「全国一斉行動！ＵＤタクシー乗車運動」を実施しました。全国17都道府県で、延べ109回の車いすでのUDタクシーへの乗車を行い、データを収集しました。２０１９年に実施した前回の調査と比較すると、主なポイントは以下の通りです。

1. 乗車拒否は増加　27%➡34.9%
2. 電動車いすの乗車拒否が増加　　（簡易電動16%➡39.5%　電動25%➡42.1%）
3. 東京は乗車拒否が減少　21%➡17.2%
4. 東京以外は乗車拒否が増加　29%➡**41.3%**
5. 乗車に要した時間は減少　11.2分➡10.1分
6. 研修を受けていない運転手が増加　2.6%➡14.3%

残念ながら乗車拒否は増加しております。東京都内は改善されていますが、それ以外の地域は乗車拒否が大幅に増えています。また、UDタクシーの運転手で、車いす乗車の研修を受けていないと答えた人も14.3％と大幅に増加しております。

これまで国土交通省におかれては、乗車拒否をなくすために、事務連絡を発出するなど積極的に対応をしてくださいました。今回の結果を踏まえ、改めて以下取り組んでいただけますようお願い申し上げます。

要望事項

1. **乗車拒否の徹底：**事業者と運転手に対して、障害を理由とした乗車拒否や配車の制限を行わないように徹底してください。とりわけ、東京都以外の地域の事業者に対し、これまで以上の強い働きかけをお願いします。また、電動車椅子はUDタクシーに乗車出来ないという偏見が広まっているようです。電動車椅子であることを理由に乗車拒否を行わないように、事業者と運転手に徹底してください。
2. **運転手の研修**：全てのUDタクシーの運転手が、車いす乗車の研修を繰り返し受けるように、事業者に働きかけてください。
3. **全国でUDタクシーを指定した配車**：全国各地で、UDタクシーを指定した予約や配車、アプリでのUDタクシーの指定が出来るように、事業者に働きかけてください。
4. **新たな車両の開発：**運転手の負担が少ないように車いす乗降が簡素で、大きな車いすも乗車できる新たなUDタクシー車両の開発をメーカーに働きかけてください。